

平成27年度第2回富田林市入札等監視委員会（会議の概要）

1. 開催日時 平成27年8月18日（火）午前9時30分～

2. 開催場所 富田林市役所 2階 201会議室

3. 議 題

(1) 入札及び契約手続きの運用状況等について（平成27年4月～6月）

①工事の発注状況について（報告）

(2) 発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議（平成27年4月～6月の3ヶ月分）

①葛城中学校消防設備改修工事

②消防本部仮眠室改修工事

③市営若松団地室内改修工事

④喜志幼稚園プール塗装改修工事

【質問・意見等】

今回入札参加したのが2社とか不成立とか、辞退が物凄く多いという傾向で、本来の入札という物が成立するのか。これは他の案件についても共通なのか。

事務局 建築工事は、人気が無いと言うかお金が合わないというのが何年も続いております。多種多様な業種、電気や設備も呼んでこないといけないという事で、お金が合わないというのが以前から有る。耐震補強の様な大きい億単位でしたらまだ参加して頂ける確率もあるのですが、100万前後という余り利益の出にくいところというのは以前から参加者が少ない、価格も高いという傾向が続いている。他の塗装工事が500～600万に対して、喜志幼稚園プール塗装改修工事は100万前後ですので、やはり技術者を一人充てるのなら大きい案件を狙おうという考えが働いたのかなという風に考えております。

委員 案件1の業者選定理由の文言で分からないのですが、条件付き一般競争入札で府内の消防施設工事業者で入札公告を行い不成立となったので、本市の登録業者で府内の消防施設工事業者から選定したと書いてあるが、1行目の府内というのは誤りで、市内ではないのか。

事務局 市内に消防施設工事業者の方が2社しか居らず、最低8社無いと市内発注しないという運用を行っておりますので、最初から府内で出させて頂いています。

委員 同じ条件で再度行ったという事ですか。

事務局 条件は同じで府内です。

市内業者なら当然市の公告を見られていると思うのですが、府内業者につきましては府内全市見られますので、本市の公告を見落とされた可能性がある。

委員 入札等監視委員会としては、落札率が高いのと、辞退という形での談合という可能性もゼロではないということでピックアップしたが、電子競争入札であればそういう心配も無いという感じか。

事務局 基本的に入札参加の意思が無ければ、電子入札の場合参加されてこないの、金額が合わないとか、技術者が配置できないという様な事は電子入札の場合は分からない。

委員 2回目の指名競争入札においてもか。

事務局 案件1の消防設備については、指名入札をした際の辞退理由と致しましては、現場代理人とか主任技術者が配置できないが3社、業務多忙というのが1社、屋内消火栓の取扱いがないのが1社、理由を付されて無いものが1社ございました。若松団地の改修工事でございますが、辞退理由と致しまして、技術者が配置できないが1社、見積金額が合わないが2社、工期が間に合わないが1社、理由を付されて無いものが6社。プールの改修工事につきましては、金額が合わないが1社、他の入札の見込が有るが1社、理由を付されていないものが6社ございました。

委員 建築工事は総じて、設計価格自体がかなり低くなっているというのが現状ですかね、見積が合わないという辞退理由から。

担当課 設計は標準です。

委員 国の基準で算出しているとは思いますが、市場からは。

事務局 業者と色々話をしている中では、民間が結構忙しく市の方には中々参加してもらえない。オリンピックの国立競技場でもありました様に、資材価格の高騰が起こってるのかなと感じております。

その他

(1) 「富田林市入札等監視委員について（平成25・26年度開催状況）の報告」について。

(2) 次回の開催日時について

(3) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について

5. 出席者

委員3名、工事関係課8名、事務局4名